

平成29年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会

北海道ラウンド競技・審判上の確認

競技委員長 田 中 淳

審判委員長 明 井 寿 枝

1 競技規則について

- (1) 平成29年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則及び競技要項により実施する。ネットの高さは男子2m43cm、女子は2m24cmとし、競技は全て3セットマッチで行う。中体連、高体連特別ルールは適用しない。今大会使用球は、男子モルテン製・女子ミカサ製を使用する。

2 チーム構成について

- (1) 1チームは部長、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー各1名（チームスタッフ）、選手18名以内とする。必要に応じてドクター、通訳を加えることができる。申込後の選手登録の変更は受け付けない。また、原則として、ファイナルラウンドまで選手登録の変更は認めない。
- (2) 監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は、公益財団法人 日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ、公認バレーボール上級コーチ、公認バレーボール指導員、公認バレーボール上級指導員のいずれかの資格を有する者であること。
- (3) 監督・コーチ・マネージャーの変更がある場合は、代表者会議終了後、チーム・スタッフ変更届（用紙）を提出する。（変更のない場合も提出願います。）
- (4) 各試合の役員・選手14名のエントリーは、試合ごとに構成メンバー表（用紙）に記載し、第1試合は開始時刻の30分前に、第2試合以降は、前の試合の第1セット終了後速やかに会場内本部競技担当者まで提出し確認を受ける。（必ず監督がサインをすること）また、試合が連続する場合は、試合終了後速やかに提出すること。

3 ベンチへの着席について

- (1) ベンチには有効にエントリーされた部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・通訳・ドクター各1名、選手14名以内の計21名以内の着席を認める。
- (2) チーム役員は直径6cm程度の円台（色は自由）の役職マークを左胸部につけなければならない。
- (3) 試合前の練習および公式練習の際、構成メンバー以外の登録メンバーがボールキーパーとして参加することを認める。その際は、試合用ユニフォーム以外のチームで統一された服装を着用すること。

4 試合開始時刻について

- (1) 第1試合の試合開始予定時刻は、7月22日（土）は12時30分、7月23日（日）は10時00分とし、その11分前にプロトコールを開始する。2試合目以降は、追込み方式をとる。
- (2) 公式練習前のウォーミングアップでネット・ボールを使うことを認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。

- (3) 同一チームが連続試合となる場合は、20分後にプロトコールを開始する。
- (4) 試合開始時刻を20分経過してもチームがゲームコートに現れない場合はその試合を没収する。なお次の試合の呼び出しは行わない。また、試合の進行状況によってはコートを変更して行うことがあるので他のコートの試合進行にも注意すること。
- (5) プロトコール開始10分前より、第1試合の当該チームにコートを優先的に使用させること。

5 コートワイピングについて

- (1) コート内の選手が、ラリー終了からサービス許可までの間におこなうこと。ただし、構成メンバー以外の登録されたメンバーから最大2名クイックモップラーとしてベンチの両側に配置することを認める。1名の場合は監督席と記録席の間に配置し、コートワイピングを迅速に行う。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。クイックモップラーはモッピングを目的なので応援等はできない。
- (2) タイムアウト中、およびセット間のコートワイピングはクイックモップラーが行い、クイックモップラーがいない場合は競技者あるいはベンチスタッフがモップを使って行っても良い。

6 リベロについて

- (1) リベロは、他の選手と対照的な色のユニフォームを着用すること。
- (2) リベロのエントリーについては、以下のとおりである。
 - ① エントリーした選手12名以内の場合、リベロは0名、1名、2名のいずれでもよい。
 - ② エントリーした選手13名または14名の場合、リベロは2名いなければならない。
- (3) リベロはチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることはできない。
- (4) 各セットの開始前には、リベロは副審によるスターティングラインアップの確認が終わり、スターティングプレーヤーとのリプレースメントが許されるまでコートに入ることはできない。
- (5) サービスのホイッスルの後に行われるリプレースメントは、サービスヒットの前であれば拒否されないが、そのラリー終了後に口頭でゲームキャプテンに注意される。同一試合内にリプレースメントの遅れが再発した場合は、プレーは直ちに止められ、遅延行為に対する罰則が適用される。しかし、その時のリプレースメントは、罰則の段階に関係なく認められる。
- (6) ラリーがノーカウントとなった時は、リベロのリプレースメントはできない。
- (7) リベロが1人しかいなくなった場合や、1人しか登録されていない場合では、そのリベロがプレーできなくなったときやプレーできなくなったと宣言されたときには、監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）はその時点でコート上にいない他の選手（リベロと入れ替わった選手を除く）を、試合終了までリベロとして再指名することができる。

7 ユニフォームについて（シューズ・サポーターを含む）

- (1) 競技規則通りの選手番号をつけた統一されたユニフォームを着用のこと。JVAが公認するメーカー製以外のユニフォームを着用する場合にはそのロゴを露出しないようにすること。露出する場合はその企業ロゴをマス

キングする。

- (2) パワーパンツ、アンダーシャツ等(サポーター以外)を着用する場合はユニフォームからはみ出してはいけない。
- (3) ソックスについては、くるぶしが完全に隠れるものを着用しなければならない。くるぶしが見えるような短いソックスを履いてのゲーム参加は禁止とする。ハイカットシューズの場合は、シューズから出るソックスを着用すること。色、デザインは、チームで統一されているものが望ましい。

8 チーム役員について

- (1) チーム役員は、ジャケットを着用するか、統一されたトレーニングウェアを着用しなければならない。
- (2) 監督がジャケットを着て、コーチ・マネージャーがトレーニングウェアを着てもよい。
- (3) 選手と異なるトレーニングウェアを着用する場合は、チーム役員で統一されたものを着用する。ただし、中学校・高校チームの場合は、監督・コーチは統一された服装で、マネージャーはチームで統一された服装でベンチに着席のこと。

9 選手交代とタイムアウトについて

- (1) 選手交代は、選手交代ゾーン内で行わなければならない。選手交代の要求とは、中断の間に、プレーする準備のできた交代選手が選手交代ゾーンに入ることをいう。負傷による場合やセット開始前での選手交代を除いて、監督は選手交代のハンドシグナルを示す必要はない。チームが2組以上の選手交代を同時にしようとするときは、同一の要求とみなせるように、すべての交代選手が同時に選手交代ゾーンに入らなければならない。
- (2) ラリー中に選手が負傷し、ラリーが中断され、ノーカウントとなった場合、その選手の選手交代は認められるが、タイムアウトは認められない。

10 その他

- (1) ベンチには飲料、救急用具などの必需品以外を持ち込まないこと。ボールケースはベンチには置かず、コートのも最末端に置くこと。
- (2) 会場の開館は、7月22日(土)は10時30分、23日(日)は8時45分とする。開館後、コート設営が終了するまではコート内に入ることはできない。また設営終了後は、各チーム譲り合って使用のこと。
- (3) 競技中に、プレーしていない選手はウォームアップエリアでボールを使わずにウォームアップすることができる。また、タイムアウト中には、そのコートのフリーゾーンでウォームアップできる。なお、選手はセット間にもフリーゾーンでボールを使ってウォームアップできる。
- (4) 各試合の補助役員6名(ラインジャッジ、点示)について
 - ① 7月22日(土)、女子の予選グループ戦は、第1試合は第2試合の両チームで、第2試合以降は前試合の勝者チームで行う。
 - ② 7月23日(日)、男子のリーグ戦は試合のないチームが行う。女子の決勝トーナメント戦は、第1試合は第2試合のチームで、第2試合は第1試合の敗者チームで、第3試合は第2試合の勝者チームで、第4試合は第3試合の両チームで行う。

- (5) コートワイピング用タオルの交換用を持参のこと。
- (6) 試合前の待機チームは、前試合終了の挨拶が終了するまでコートへの入場を禁じる。
- (7) 7月22日（土）の予定されている試合でCコートは使用しない。Cコートでのボールを使用しない練習は認める。
- (8) 女子の決勝トーナメント戦の抽選は、予選グループ戦の最終試合が終了次第行う。